おひさまだより

令和５年７月１日

社会福祉法人 みどり会
みどりの森おひさま保育園

園 長　免出 智美

夏が近づくこの時期。蒸し暑い日が続いていますが、子ども達は毎日、全身で土と水の感触を楽しみ元気いっぱいです。畑やプランターに植えた夏野菜もすくすく育ち、「トマトがなってる！」と育った野菜を見つけると大喜びです。時には、赤くなり始めたトマトを早々にもぎ取ってしまうということもありました。子ども達の好奇心を大切にしながら、野菜の収穫頃について、育てているクラスの気持ちなど小さなハプニングも学びに繋がっているようです。

これから気温もますます高くなり、体調も崩しやすくなります。〝早寝・早起き・朝ごはん〟という生活リズムをご家庭でも心がけて夏を元気に過ごしましょう。

７月行事予定

月	日	曜	行　事　予　定
７	３	月	プール開き
	５	水	園庭開放（未就園児）
	７	金	七夕会
	８	土	お弁当の日
	12	水	身体測定（乳児）
	13	木	身体測定（幼児）
	14 15	金 土	お泊り保育（ひかり組）
	19	水	おひさま広場（未就園児）
	22	土	お弁当の日 令和４年度卒園児同窓会

※変更の場合あり

保護者参加行事：８月 19 日（土）夏祭り

保護者交流会

どんぐり組・たけのこ組は、日々の様子をパワーポイントや写真などで見ていただいたり、乳幼児教育アドバイザーの先生をお招きして一緒にわらべうたを楽しんだりとゆったりと過ごしました。園での様子や大切にしていることなどを知っていただくこともできたようです。

ひかり組は、日々行っているサークルタイムを保護者の方にも体験していただいたり子ども達とカードゲームを楽しんだりしました。お父さんやお母さんにルールを説明する時の表情が頼もしく、子ども達の自信にもなったようです。

＊お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。

毎日が「発想」の実験日！～周りのもの、すべてがおもちゃ

子どもにとっては身の回りのものすべてが、「おもちゃ」です。わざわざおもちゃを買い与えなくても、子どもは遊びを発見する天才です。例えば、空き箱を「ブーブー」と言いながら動かしている時は、頭の中で車を思い浮かべています。こうした遊びは、豊かな「発想」の元になっています。この時、大人が「この子は車が好きなんだ」と車のおもちゃを次々に買い与えると発想の芽を積むことになってしまいます。何もないところから何かを生み出す、そのプロセスはとても大切です。大人も一緒に空き箱をつかって遊んでみましょう。子どもが自分から取り組んで、一生懸命遊んでいるときは、途中でやめさせたりしないで満足するまでたっぷり遊べると次へ進みます、遊びの中にも成長するスキップが含まれているのです

子どもにとっては毎日が「発想」の実験日で次々と遊びを発明していきます。子どもにとって遊びは生活そのものであり、その楽しさの元になるのは内から湧き出てくる好奇心です。お母さんお父さんは「待つ、見守る、急がない、急がせない」を心がけて温かく見守り、子どもの興味を共有してみると一緒に楽しい時間を過ごせると思います。　～参考文献：子どもの見ている世界　誕生から６歳までの子育て・親育ち～

ドキュメンテーションから抜粋（各クラス担任の１枚）

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「**何を感じ**」「**気付き**」「**理解できる**」ようになるのか、「**試す**」「**工夫する**」「**表現する**」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。

どんぐり（0 歳児）　「興味から・・・」

どうやって遊ぼうかと目で見て触って固さや形を確かめます。保育者が目の前でぽっとん落としをしている様子を見て模倣して遊び始めました。生活や遊びの中で様々なものに興味を持ち、触れて、形や手触りなどに気づくことで感覚を豊かにします。

たけのこ（1 歳児）　「試すことを楽しむ」

足先から指先まで全身で感触を感じながら絵の具や片栗粉の感触を試してやってみることに意欲的な姿がありました。感触遊びは、手足の皮膚から様々な感触を味わう。大脳を刺激して五感を養う。素材の違いを理解してくり返し触る楽しさを感じるなそ様々なことを学びます。

りす（2 歳児）　「虫探偵なんです」

虫への興味関心が広がり『どこにいるのかな？』『ここにいそう！』とプランターの下や、草がたくさん生えている所を探すようになりました。予想があたると「ほらね！やっぱここにいた！」と達成感から『もっとみつけたい』という意欲に繋がっていきます。実際に見つけ、触れたり、観察する中で生き物への興味関心に繋がっています。

うさぎ（3 歳児）　「初！トマト収穫！！」

毎日観察していたトマトもついに赤くなり収穫を迎えました！トマトの葉っぱやトマトの色を他のトマトと比べて感じた事を伝えようとしています。切ったトマトを一人ひとりに渡すと、じっくり観察して種や匂い、中身の違いに気付き自分たちで育てたトマトは特別な味だったようです。育てた野菜を食べる経験は食育にも繋がっていきますね。

そら（4 歳児）　「カッパで散歩」

雨の日、カッパを着て、園庭とバックヤードを散歩しました。大きなプランターをみんなで動かして虫を見つけたり、手で雨つぶに触れてみたり、「みずたまりができてる！」と発見を伝えたりしながら、雨の日の散歩を楽しみます。

ひかり(5 歳児)　「自分が食べるご飯」

週に２回、自分のクラス＋幼児１クラス分の米とぎをしています。回数を重ねるごとに、自分たちで気を付けることを意識しながら取り組んでいます。また、米一粒一粒を大切にし、机上に落ちている米粒も残さず拾います。食への興味、関心や食べ物を大切にする気持ちも育っています。